

# 報 道 資 料

発表年月日 平成29年10月12日  
担当部署名 奈良県医療政策部保健予防課  
係・担当者 感染症係 馬庭・戸毛  
連絡先 0742-27-8612(内線 3225・3161)

## 感染症の注意喚起～インフルエンザの集団発生について～

県内の保育園において、インフルエンザの集団発生事例（10名以上の発症）がありました。今シーズン（9月開始）初発の集団発生事例となりますので、注意喚起のため報道発表します。

### 1 発症者の状況

・発症者数（10月12日 9時現在） 28名

・発症者内訳

園児 （発症者数／園児数）

28名／100名（男 14名／44名、女 14名／56名）

クラス内訳：0歳児 0名／6名、1歳児 2名／15名、2歳児 3名／19名

3歳児 5名／21名、4歳児 8名／17名、5歳児 10名／22名

・症状 発熱・咳・鼻汁

・現在の状態（10月12日 9時現在）

有症者 12名（男 8名 女 4名） 入院者・重症者 0名

### 2 検査結果

園児 26名（男 12名 女 14名）が医療機関における迅速検査でインフルエンザB型と判明。

### 3 施設について

施設名 社会福祉法人みのり福祉会 このみ学園

（しゃかいふくしほうじん みのりふくしかい このみがくえん）

所在地 橿原市曾我町 895-9 TEL：0744-24-0032

施設長 小川 操（おがわ みさお）

### 4 経過

9/29 1名の園児が発症し、その後有症者が増加。

10/11 中和保健所がこのみ学園でインフルエンザが流行していることを探知し、現地調査。

## 5 インフルエンザの予防について

- ・ インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があり、特に高齢者や基礎疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が高い方は効果が高い方は予防接種を受けましょう。
- ・ 感染予防と感染拡大防止のため、外出先から帰った時など、こまめに手洗いやうがいをしましょう。
- ・ 咳やくしゃみの症状があるときはマスクをするなど、咳エチケットを徹底しましょう。
- ・ 日頃から十分な休養とバランスの取れた栄養摂取を心がけましょう。
- ・ 室内の乾燥を避け、適度な湿度を保ちましょう。
- ・ インフルエンザにかかったかなと思ったら、マスクを着用のうえ、早めに医療機関を受診しましょう。
- ・ 基礎疾患をお持ちの方や妊婦、乳幼児、高齢者は重症化することがあるので特に注意が必要です。乳幼児や高齢者の利用する施設では十分な予防対策を講じてください。

## 6 その他

- ・ 昨シーズン初の集団発生の報道発表は、平成 28 年 11 月 15 日で 1 施設、発症者 23 名。

※集団発生の定義（1 施設、1 週間以内に概ね 10 名以上発症で 2 名以上の確定診断）

【参考】 インフルエンザの発生状況（インフルエンザ定点当たり報告数）

◇2017 年 全国・奈良県比較

2016 年	39 週 (9/25～10/1)	40 週 (10/2～10/8)
全 国	0.21	0.21
奈良県	0.06	0.11

◇第 40 週 (10/2～10/8) の保健所管内別届出報告数

	奈良市保健所	郡山保健所	中和保健所	吉野保健所	内吉野保健所
届出報告数 (件)	—	—	6	—	—
定点当たり	—	—	0.29	—	—

※インフルエンザ定点当たり報告数とは

一週間に一つのインフルエンザ定点医療機関（県内 54 か所）からどのくらいの患者報告数があったかを表す数値で、この数値によって、地域の流行状況が把握できる。

流行の開始の目安は 1.00、注意報レベルは 10.00 以上、警報レベルは 30.00 以上とされている。